



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく  
たたくしまし  
たたくしまし



笠懸小学校

学校だより No.11 2022.7.11

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 先生方へのインタビュー②(図書室編)

今日は、笠懸小学校の図書司書である宮本先生へのインタビューをお届けします。読書をする事のよさや大切さについて、笠小の児童をすぐそばから見守っている宮本のお考えを参考に、読書への興味や関心を高めてほしいと思います。また、読書を通して得られる能力について、とても興味深い話がありました。夏休みはじっくりと読書をするチャンスですので、家族そろって読書に親しんでみてはいかがでしょうか。

Q:本を読むことの素晴らしさやよさを教えてください。

A:よく言われていることですが、文章を読む力や書く力が上がります。また、語彙も多くなり、文章や会話での表現も変わってきます。子どもたちとの会話の中で、本を読んでいるお子さんはすぐに分かるくらい違います。また、個人的には想像力が向上すると思っています。想像力が高いと他の人の気持ちに共感する力も高まり、コミュニケーション能力の高まると思います。コミュニケーション能力は大人になってもとても大切だと感じています。

最近、AI(人工知能)に人の職業が奪われると言われていますが、人がAIより勝ることは想像力です。AIはインプットしたものを分析してアウトプットすることはすぐれていますが、0から1を創り出すことはできません。人は想像して0から1を創り出すことができますし、人として想像力が豊かなことはとても大切なことだと思っています。優秀な人とは、昔ならインプットが得意な人でしたが、これからの時代は、0から1を創り出す想像力がすぐれている人が優秀な人材になるそうです。以上のようなことが本を読むことの素晴らしさやよさだと思います。

Q:図書室をどのように利用してほしいですか。

A:本を個々に借りることはもちろんですが、授業の時間にたくさん利用してほしいと思っています。個々には借りる本の冊数が限られますが、学級などで借りる場合は、一度にたくさん借りることができるので、ぜひご利用ください。また、何かを調べるときは、ネットが便利なのは間違いないのですが、ネットには信頼できない情報もあります。学校にある百科事典などの書籍は信頼できる情報ばかりであることを知って利用してほしいです。最近、書籍を使って調べ学習をすることが少なくなったせいか、上手に調べられない様子もあります。百科事典で調べたり、その中で分からない言葉があった時は辞書で調べたりするなど、学び方を学ぶ場としても使ってほしいと思っています。

Q:図書館にある本で、おすすめの本はありますか。

A:



「2平方メートルの世界で」  
前田海音著  
何度読んでも泣いてしまいそうになるそうです。



「蝶のはばたきその先へ」  
森楚こみち著  
主人公が人との関わりを通して新しい一歩を踏み出します。



「僕は上手にしゃべれない」  
椎野直弥著  
様々な経験から自分を乗り越えていきます。

本をたくさん読んで  
想像力や発想する力  
を向上させましょう!



## トイレ改修工事が始まります・・・工事完了後はすべて洋式トイレに!

今年度と来年度の夏休みを中心にトイレ改修工事を行います。今年度は体育館及び1年生教室前、校舎西階段踊り場(2,3階)の工事を行います。工事は、1学期中から始まり、その進捗状況により対応が異なりますが、夏休み中のプールや2学期のはじめには、仮設トイレを使用する場合があります。その際は、子どもたちの安心や安全への配慮をきちんと行っていきます。学校西側や体育館周辺を中心に工事車両が入りますので、来校の際は、保護者の皆様もお気を付けください。

